



R.I. DISTRICT 2500 THE ROTARY CLUB OF KITAMI WEST 北見西ロータリークラブ会報

2025～2026年度クラブテーマ

《縁(えにし)を大切に、和(輪)をもって
ロータリーライフを楽しみましょう!》

よいことの
ために
手を取りあおう

■創 立 日 昭和46年 4月29日(1971/4/29)
■承 認 日 昭和46年 5月27日(1971/5/27)
■例 会 場 所 ホテル黒部(7条西1丁目)
TEL 23-2251
■毎週木曜日 12時30分～13時30分
■事 務 局 TEL 25-2824

■会 長 松井 順仁 ■会長エレクト 山本 英敏
■副会長 村田 望 ■幹 事 近江 孝介

第2500地区ガバナーテーマ

「Rotaryのことを熱く語ろう!～Rotarian Benefitを紡ぎ、そして育むために～」

本日のプログラム

第2549回例会

2025年11月20日(木)

ホテル黒部

会員卓話「自己紹介」

村上 昇始 会員 プログラム委員会

第2548回 例会記録

2025/11/13

会長挨拶

松井会長



皆さんこんにちは、先週のプログラムは、
「ロータリー財団月間に因んで」ということで
ロータリー財団委員会の担当でした。

海田委員長におかれましては、何かとお忙しい中、非常にわかりやすくパワーポイントにまとめて頂き誠にありがとうございました。中でもスクリーンの文字が大きく私の席からもはっきりと確認ができ、とても見やすかったです。それと岡花副委員長と富田会員が各テーブルを回られ寄付金を集めて頂き大変感謝いたしております。先輩会員のお二人が回られたことにより、多くの会員の方々が財団への関心をもって頂けてのではないかと思います。ありがとうございました。

さて、本日のプログラムは、北見市商工観光部 観光振興室と企画財政部より2名の担当係長がお見えになり「個人版ふるさと納税と企業版ふるさと納税について」のお話をして頂けるようです。高田プログラム委員長よりお願いいたします

それでは、本日もおいしい食事と例会を楽しみましょう。

天気 (例会時) 最高気温 12℃



昼 食

茄子と豚肉の麻婆
鶏胸肉の葱ソース
白身魚の甘酢ソース
ライス サラダ スープ
デザート コーヒー

■ニコニコボックス 中本親睦活動委員

窪之内会員

誕生祝ありがとうございました。

松浦会員

先週の土曜日、地区大会にも参加されていたモンゴルの奨学生だったマンガスレン先生夫妻と一緒に楽しいひと時を過ごしました。

斉藤会員

先週例会をお休みして視察旅行で神戸へ。夜は1人抜け出し、三宮のジャズバー「ソネ」へ久しぶりに行って来ました。やっぱり良かった。

浅野会員

競馬で重賞レース3週連続ゲット!!ニコニコ。

富田会員

国土交通大臣表彰お祝いありがとうございます。

- 1) 今年度の第5分区のガバナー補佐の田中栄治様より、お礼状が届いております。
地区大会へ多くのご参加をいただき、ありがとうございましたとのことです。
- 2) 北海道ローターアクトラーニングワークショップのご案内という文書が届いております。このたび、2500地区と札幌方面を中心とした2510地区と合同で、両地区のローターアクトラーが地区を越えて学び、そして繋がる機会として「北海道ローターアクトラーニングワークショップ」を開催するそうです。
日時は令和8年2月21日（土）、札幌の「ホテルユキタ」というところで開催される予定です。
このイベントはローターアクトラーのみならず、ロータリアンの参加も可、とのことです。
正直に申し上げまして、当クラブにはローターアクトクラブがないことから、ローターアクトの活動についてはあまりなじみがないというのが本音ですが、この機会に是非参加してみたいという会員の方がいらっしゃいましたら、幹事の方までお知らせください。登録の締め切りは12月26日となっております。
- 3) 2500地区の美瑛ロータリークラブより、創立50周年を迎えたとのことで、記念誌が届いております。ご覧になりたい方は事務局までお問い合わせください。
- 4) 11月9日（日）、次年度のロータリー財団補助金セミナーが開催され、当クラブからは紺野会員がWEBで受講していただいたことを報告いたします。
- 5) 本日、例会終了後に臨時理事会が開催されます。役員・理事の皆様、ご出席よろしく願いいたします。

委員会報告

R 財団委員会 海田委員長

寄付のお礼

プログラム

ゲスト卓話「ふるさと納税と企業版ふるさと納税について」

北見市商工観光部観光振興室ふるさと納税推進担当 係長 関谷 剛氏・北見市企画財政部企画課 企画担当係長 尾崎 実織氏 プログラム委員会



高田プログラム委員長より挨拶の後、北見市商工観光部観光振興室ふるさと納税推進担当係長 関谷剛氏、北見市企画財政部企画課企画担当係長 尾崎実織氏より「ふるさと納税と企業版ふるさと納税について」と題して卓話をしていただきました。

令和7年11月13日（木）
北見西ロータリークラブ 様

ふるさと納税で地域や企業を元気に！

北見市商工観光部観光振興室
ふるさと納税推進担当

～次第～

1. 「ふるさと納税」とは
2. 人口動態の推計（北見市・オホーツク地区）
3. 目指すべき「ふるさと納税」のカタチ

1. 「ふるさと納税」とは

1. 「ふるさと納税」とは

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度（一定の上乗せあり）。

→ 寄附した分（2,000円の自己負担を除き）、翌年の住民税が安くなる制度

【控除額計算の例】（年収700万円の給与所得者、夫婦のみ世帯の場合）
30,000円のふるさと納税を行うと、1,000円を超える部分となる29,000円が所得税と住民税から控除される。

【注意】
世帯構成や収入状況により控除と上乗せの計算は異なるため、収入確定に合わせてポータルサイトなどで計算する必要があります。

→ 年末に収入確定する給与収入者が多いため、寄附が12月に集中する。

1. 「ふるさと納税」とは

「ふるさと納税」の流れ
（ご自身で確定申告をされる方）

- ① 寄附する自治体を選ぶ
- ② ふるさと納税をする
→ 確定申告に必要な「寄附受領証明書」が寄附先自治体から発行される
- ③ 確定申告を行う
→ 翌年の3月15日まで、所管税務署で確定申告を行う（寄附受領証明書の提出が必要）
- ④ 所得税からの控除
- ⑤ 翌年度の住民税からの控除

（ワンストップ特例申請をされる方）

- ① 寄附する自治体を選ぶ
- ② 確定申告が不要な給与所得者等、寄附先自治体から「ワンストップの通知」を、ワンストップ特例申請が可能
- ③ ふるさと納税をする
→ ワンストップ特例申請書の提出を行う
→ マイナンバーカードを利用したオンライン申請も可能（一部自治体）
- ④ 翌年度の住民税からの控除
→ 確定申告をされる方は異なり、所得税からの控除は行われず、住民税から控除される

1. 「ふるさと納税」とは

ふるさと納税の理念
～制度が生まれた理由～
多くの人が地方で生まれ、地方自治体から医療・教育等様々なサービスを受けて育ち、進学や就職を機に生活の場を都会に移し、そこで納税を行っている。
そこで、「自分もはぐくんできたふるさと」に自分の恩恵で納税できる制度があっても良いのではないか」という民間提議から生まれた制度。

ふるさと納税で日本を元気に！ ～3つの大きな意義～
① その寄附金（税）の使われ方を考えるきっかけとなる制度
② 生まれ故郷や移住地になった地域に、応援したい地域へ力になれる制度
③ 自治体間の競争が進むことで、地域のあり方を改めて考えるきっかけ

2. 制度のポイント

- 応援したい地方公共団体に寄附（1回当たり10万円以上）
- 北見市外に本社（地方税法における主たる事務所又は事業所）がある法人が対象
- 青色申告書を提出している法人が対象
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止

2. 制度のポイント

- **NG** 寄附の見返りとして補助金を受け取ること
- **NG** 入札の便宜を図ること
- **NG** 商品券やプリペイドカードなど換金性が高い商品を受け取ること
- **OK** 地方公共団体の広報誌やホームページなどでの寄附企業名の紹介
- **OK** 公正なプロセスを経た上での地方公共団体との契約

3. 制度のメリット

➢ 損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乗せされることから、寄附額の約1割負担で寄附が可能

企業版ふるさと納税と軽減効果が約9割に

企業負担約1割

3. 制度のメリット

➢ 社会貢献を通じて、企業の社会的なイメージアップ

➢ 創業地や縁のある地方公共団体を応援する手段

4. 制度のデメリット

➢ 企業からのキャッシュアウトに伴う
寄附金を企業のキャッシュから支出する必要がありますが、税額控除の対象となるため、法人関係税の負担を抑えられ、企業の規模や予算に応じて10万円以上から柔軟に寄附可能

➢ 返礼品の受け取りや経済的な利益の享受ができない
返礼品や経済的な利益を受け取ることができないが、企業版ふるさと納税を通じて自社のビジョンやミッションに沿った寄附活動を行うことで、一貫した企業活動やブランド力の向上につながる

5. 手続きの流れと寄附ベネフィット

- ① 企業版ふるさと納税窓口へご連絡
- ② 寄附額や寄附活用事業等の調整
- ③ 寄附申出書のご提出（企業様⇒市）
- ④ 寄附金のご入金（企業様⇒市）
- ⑤ 寄附受領証の発行・送付（市⇒企業様）
- ⑥ 北見市ホームページへ企業名、寄附額を公表、企業ホームページ会社概要へのリンク設定
- ⑦ 感謝状の贈呈（100万円以上の場合は市長から）
- ⑧ 北見市善行表彰（200万円以上）
- ⑨ 国の紺綬褒章の候補者として推薦（1,000万円以上）

6. 企業版ふるさと納税による寄附実績と活用事例

年度	寄附企業数	寄附額
令和2年度	3社	228,600,000円
令和3年度	2社	
令和4年度	6社	
令和5年度	3社	
令和6年度	14社	
令和7年度 (10月末時点)	7社	

7. 皆さまにお願いしたいこと

➢ 本社が北見市外の方で本制度の対象となる方は、ぜひ北見市へのご寄附をお願いいたします

➢ お取引先や関連企業等へ、北見市への企業版ふるさと納税の呼びかけにご協力ください

ご清聴ありがとうございました

■ 例会予告 11月27日 情報集會報告（2） R 情報委員会

12月4日 年次総会（役員・理事選出）・卓話⑤ 会長・幹事・プログラム委員会

出席報告 出席委員会

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メ ックアップ (E)	事後メ ックアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	11月13日	66 (休会者3名)	13	51	9	0		82.2%

※但し、休会者3名を含む総数は69名です。